

バックアップ装置

本ガイドは、下記シートから構成されております。

1.バックアップ装置概要

バックアップ装置の仕様等を記載

2.バックアップ装置取り扱いについて

LTO、DLT、DAT、AIT 各装置のクリーニング期間、テープ寿命等を記載

3.バックアップ装置をご使用いただくにあたってのお願い

バックアップ装置の運用管理について DAT を例に説明

4.ソフトウェア対応表

バックアップ装置毎に使用できるソフトウェアを記載

1. バックアップ装置概要

バックアップ装置

1.概要

型名	製品名	
内蔵 DAT		
N8151-27	内蔵 DAT 集合型	
N8151-45	内蔵 DAT	
N8151-51	内蔵 DAT	
N8151-39	内蔵 DAT 集合型	
内蔵 AIT		
N8151-34B	内蔵 AIT	
N8151-46A	内蔵 AIT	
N8151-41A	内蔵 AIT	
N8151-50	内蔵 AIT(IDE)	
N8151-36	内蔵 AIT 集合型	
N8151-29	内蔵 AIT 集合型	
内蔵 LTO		
N8151-37	内蔵 LTO	
N8151-40	内蔵 LTO	
N8151-49	内蔵 LTO	
外付 DAT		
N8560-22	外付 DAT	
外付 LTO		
N8160-35	LTO 集合型(ラックマウント用)	4U
N8160-36	LTO 集合型 ラックマウント搭載キット	
N8160-47	LTO 集合型(ラックマウント用)	4U
N8160-55	LTO 集合型 ラックマウント搭載キット	1U
N8160-54	LTO 集合型タワーコンバージョンキット	
外付 AIT		
N8160-43	AIT 集合型(ラックマウント用)	1U
AIT ライブラリ関連		
N8160-44	AIT ライブラリ(ラックマウント用)	2U
N8160-45	AIT ライブラリ用増設ドライブ(ラックマウント用)	
LTO ライブラリ関連		
N8160-50	Upgrade 型 LTO ライブラリ(ラックマウント用)	5U
N8160-51	Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体 (ラックマウント用)	5U
N8160-52	Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設ドライブ	

2.機能仕様

■ DAT

型名	N8151-45 *6 *8	N8151-51 *6 *8
形態	内蔵単体	内蔵単体
規格	DDS1/2/3/4 *3	DDS3/4/DAT72
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12/20	12/20/36
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24/40	24/40/72
実効転送速度 *2	2.36MB/s *5	3.0MB/s
カートリッジ収容数	-	-

型名	N8151-27 *9	N8151-39 *9
形態	内蔵集合型	内蔵集合型
規格	DDS1/2/3/4 *3	DDS1/2/3/4 *3
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12/20	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24/40	4/8/24/40
実効転送速度 *2	3MB/s *5	2.36MB/s *5
カートリッジ収容数	6	8 *7

型名	N8560-22
形態	外付単体
規格	DDS1/2/3/4 *3
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24/40
実効転送速度 *2	2.36MB/s *5
カートリッジ収容数	-
外形寸法(WxDxH)[mm]	198x256x64.5
皮相電力	120VA
消費電力	30.0W
質量	2.3Kg
AC ケーブル長	2.5m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。平均圧縮容量は圧縮効率を2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)DDS1 テープは読み込み(READ)のみ可能。

*4)DDS3 カートリッジテープを使用した場合の値。

*5)DDS4 カートリッジテープを使用した場合の値。

*6)3.5"/5"ベイ両用。

*7)カートリッジテープのマガジンへのセットは、クリーニングテープを含めて、1 巻,7 巻,8 巻のいずれかをセットして使用する必要あり(1 巻,7 巻,8 巻以外の巻数では使用できません)。

*8)Express5800/140Hc,140Hd,140Rb-4,140Rc-4 に実装時、本サーバ標準添付のレール取付ネジを使用。

*9)Express5800/140Hc,140Hd に実装時、本サーバ標準添付のレール取付ネジを使用。

■AIT

型名	N8151-34B *7	N8151-46A *7	N8151-41A *7 *9	N8151-50 *8
形態	内蔵単体	内蔵単体	内蔵単体	内蔵単体(IDE)
規格	AIT-1	AIT-1/2	AIT-1/2/3	AIT-1
非圧縮時容量(GB)*1	25/35	25/35/36/50	25/35/50/100	25/35
平均圧縮容量(GB)*1	50/70	50/70/72/100	50/70/100/200	50/70
実効転送速度 *2	4MB/s *3	6MB/s *4	12MB/s *5	2.5MB/s *3 *10

型名	N8151-36	N8151-29	N8160-43
形態	内蔵集合型	内蔵集合型	外付集合型 ラックマウント用 1U
規格	AIT-1	AIT-1/2	AIT-1/2/3
非圧縮時容量(GB)*1	25/35	25/35/50	25/35/50/100
平均圧縮容量(GB)*1	50/70	50/70/100	50/70/100/200
実効転送速度 *2	4MB/s *3	6MB/s *4	12MB/s *5
カートリッジ収容数	4 *6	4 *6	8
外形寸法(WxDxH)[mm]	-	-	430x660x43
皮相電力	-	-	100VA
消費電力	-	-	55W
質量	-	-	13.5Kg
AC ケーブル長	-	-	3m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)AIT-1 カートリッジテープを使用した場合の値。

*4)AIT-2 カートリッジテープを使用した場合の値。

*5)AIT-3 カートリッジテープを使用した場合の値。

*6)マガジンの全てのカートリッジスロットに収容して使用する必要あり。

*7) 3.5"/5"ベイ両用。

Express5800/140Hc,140Hd,140Rb-4,140Rc-4 に実装時、本サーバ標準添付のレール取付ネジを使用。

Express5800/140Hc,140Hd をラックモデルとして使用し、本内蔵 AIT 装置を正面向かって左側のデバイスベイに実装する場合、ラックコンバージョンキット標準添付の「デバイスレール」を使用。

*8) 3.5"/5"ベイ両対応。

*9) N8103-56 SCSI コントローラを使用して接続する場合は、必ず本内蔵 AIT 装置添付の SCSI ケーブルを使用してください。添付の SCSI ケーブルは、N8103-56 SCSI コントローラとの接続以外では使用しないでください。

ただし、Express5800/120Rc-2、120Rd-2 の本体装置に実装し、N8103-56 SCSI コントローラで接続した場合のみ本内蔵 AIT 装置添付の SCSI ケーブルは使用せずに上記本体装置に添付されている SCSI ケーブルを使用してください。上記本体装置には内蔵 AIT 添付の SCSI ケーブルを実装できるスペースはありません。

本体サーバの外部 SCSI インターフェース(Ultra160SCSI)より N8141-28A デバイス増設ユニットを接続して使用する場合は本体サーバの SCSI バスの SCSI 転送速度を 80MB/sec(40MHz)以下で使用して下さい。

本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに「68 ピン(Wide)→50 ピン(Narrow)」変換コネクタが取り付けられている場合は変換コネクタを取り外してください。変換コネクタが取り付けられていると SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに Single-Ended 装置(「3.インターフェース」参照)が取り付けられている場合、SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

*10)IDE インターフェース接続のため、CPU 負荷状況により下回る場合があります。

N8160-43 には SCSI コントローラ N8103-56、ケーブル K408-31C が必須

■ LTO

型名	N8151-37 *4	N8151-40 *3 *4 *5	N8151-49 *4 *5
形態	内蔵単体	内蔵単体	内蔵単体
規格	LTO Ultrium	LTO Ultrium	LTO Ultrium2
非圧縮時容量(GB)*1	100	100	200
平均圧縮容量(GB)*1	200	200	400
実効転送速度*2	15MB/s	7.5MB/s	30MB/s

型名	N8160-35 *6	N8160-47 *7
形態	外付集合型 ラックマウント用 4U *8	外付集合型 ラックマウント用 4U *8
規格	LTO Ultrium	LTO Ultrium2
非圧縮時容量(GB)*1	100	200
平均圧縮容量(GB)*1	200	400
実効転送速度*2	15MB/s	35MB/s
カートリッジ収容数	10	10
外形寸法(WxDxH)[mm]	220x599x175	220x599x175
皮相電力	130VA	130VA
消費電力	125W	125W
質量	18Kg 未満	18Kg 未満
AC ケーブル長	5m	5m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)N8541-28/N8141-28A デバイス増設ユニットへ搭載しての電源連動機能は未サポートです。
Server に電源連動して DC が ON しますが、OFF できません。

*4) 本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに「68 ピン(Wide)→50 ピン(Narrow)」変換コネクタが取り付けられている場合は変換コネクタを取り外してください。変換コネクタが取り付けられていると SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。
本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに Single-ended 装置(「3.インターフェース」参照)が取り付けられている場合、SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

*5)Express5800/140Hc,140Hd に実装時、本サーバ標準添付のレール取付ネジを使用。

*6) ラック搭載時は N8160-36 または N8160-55 の LTO 集合型ラックマウント搭載キット、据置時は N8160-54(LTO 集合型タワーコンバージョンキット)が必須。

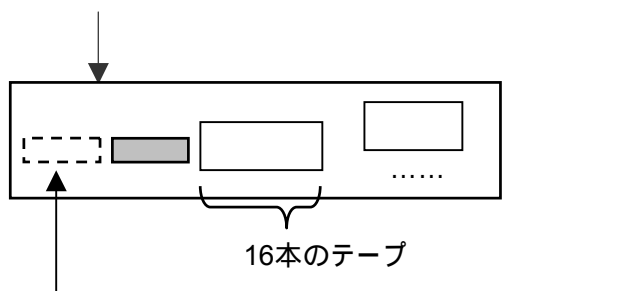
*7)ラック搭載時は N8160-55(LTO 集合型ラックマウント搭載キット)、据置時は N8160-54(LTO 集合型タワーコンバージョンキット)が必須。

*8)N8160-55 を使用しラックに搭載する時は、高さが 1U 増えて 5U となります。

N8160-55 には、N8160-35 と N8160-47 を並べて搭載することが可能です。

AIT ライブラリ (ラックマウント型) N8160-44(AIT-3)

AITドライブ1台実装済み



増設用AITドライブ

N8160-45



Optionで別途手配

■ AIT ライブラリ

型名	N8160-44	N8160-45
形態	AIT ライブラリ ラックマウント用 2U	AIT ライブラリ用 増設ドライブ ラックマウント用
規格	AIT-1/2/3	AIT-1/2/3
非圧縮時容量(GB) *1	25/35/50/100	25/35/50/100
平均圧縮容量(GB) *1	50/70/100/200	50/70/100/200
実効転送速度 *2	12MB/s *3	12MB/s *3
カートリッジ収容数	16	-
外形寸法(WxDxH)[mm]	430x680x88	-
皮相電力	140VA	-
消費電力	100W	-
質量	約 18Kg	-
AC ケーブル長	3.0m	-

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

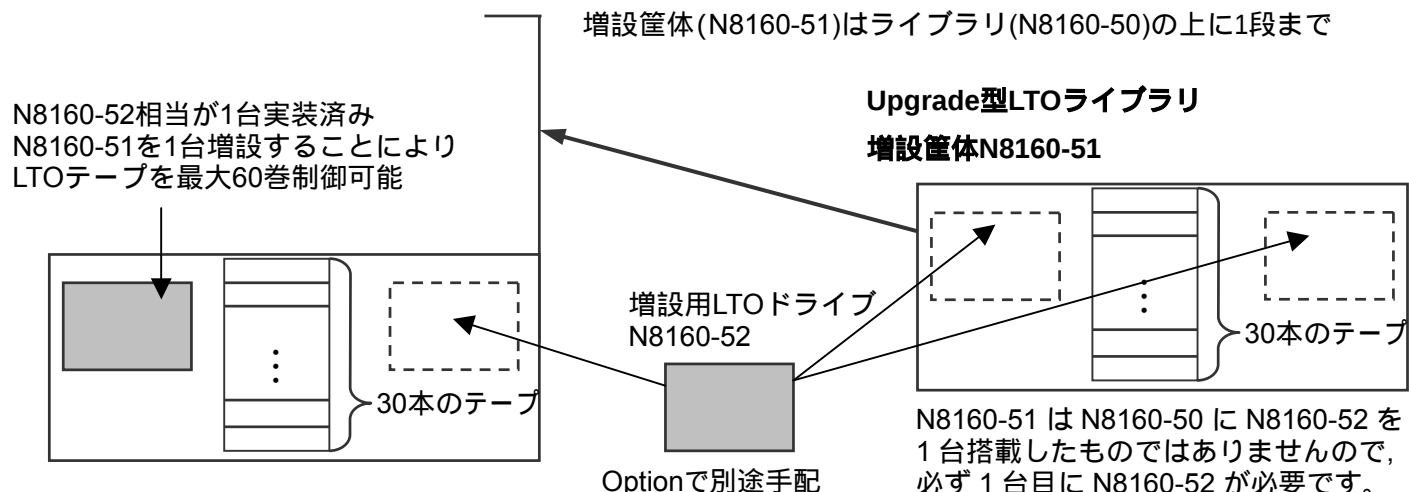
*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)AIT-3 カートリッジテープを使用した場合。

N8160-44 には SCSI コントローラ N8103-56 、ケーブル K408-31C が必須。

N8160-45 は N8160-44 に 1 台まで増設可能。

Upgrade型LTOライブラリ N8160-50



■ LTO ライブラリ

型名	N8160-50	N8160-51	N8160-52
形態	Upgrade 型 LTO ライブラリ ラックマウント用 5U	Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体 ラックマウント用 5U	Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設ドライブ ラックマウント用
規格	LTO Ultrium2	-	LTO Ultrium2
非圧縮時容量(GB) *1	200	-	200
平均圧縮容量(GB) *1	400	-	400
実効転送速度 *2	30MB/s	-	30MB/s
カートリッジ収容数	30	30	-
外形寸法(WxDxH)[mm]	424x787x222	424x787x222	-
皮相電力	192VA	192VA	-
消費電力	130.5W	130.5W	-
質量	約 28.3Kg	約 26.2kg	-
AC ケーブル長	4m	4m	-

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

N8160-51 は N8160-50 に 1 台まで増設可能(1 台増設時：11U)。

N8160-52 は N8160-50 に 1 台まで、N8160-51 には 2 台まで増設可能。

N8160-51 Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体を UPS に接続する場合は、N8160-50 Upgrade 型 LTO ライブラリと同一の UPS へ接続のこと。

型名	製品名	備考
N8103-83	LTO ライブラリ用 FibreChannel コントローラ	Upgrade 型 LTO ライブラリを、FibreChannel で接続 する際に使用

■ 内蔵 IDE デバイスのインターフェース

ATA 40pin
内蔵 AIT(IDE)(N8151-50)

■ 内蔵 SCSI デバイスのインターフェース

	D-sub ハ - フピッチ 50pin	D-sub ハーフピッチ 68pin
SE	内蔵 MO (N8151-25A)	
LVD/SE		内蔵 DAT (N8151-45) 内蔵 DAT (N8151-51) 内蔵 DAT 集合型 (N8151-27) 内蔵 DAT 集合型 (N8151-39) 内蔵 AIT (N8151-34B) 内蔵 AIT (N8151-46A) 内蔵 AIT (N8151-41A) 内蔵 AIT 集合型 (N8151-36) 内蔵 AIT 集合型 (N8151-29) 内蔵 LTO(N8151-37) 内蔵 LTO(N8151-40) 内蔵 LTO(N8151-49)

■ 外付 SCSI デバイスのインターフェース

	D-sub ハーフピッチ 68pin
LVD/SE	外付 DAT (N8560-22) 外付 LTO (N8160-46) LTO 集合型(ラックマウント用)(N8160-35) AIT 集合型(ラックマウント用) (N8160-43)
LVD	LTO 集合型(ラックマウント用)(N8160-47)

■ ライブラリ関連 SCSI デバイスのインターフェース

	VHDCI 68pin
LVD/SE	Upgrade 型 LTO ライブラリ(N8160-50) Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体(N8160-51) Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設ドライブ(N8160-52)

注:SE=Single-Ended

LVD= Low Voltage Differential

VHDCI= Very High Density Cable Interconnect

■ N8141-28A 接続ケーブルの線長について

- ・ 120Ef(R), 120Lg(R), 110Rd-1 と接続する場合
SCSI コントローラ(PCI)[N8103-65]を使用して下さい。
- ・ 120Mf(R)の本体 SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K408-31C(01)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続する SCSI バスの SCSI 転送速度を 20MB/sec(Wide), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ 140Hd(R), 140Rc-4, 180Rc-4 の本体 SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K410-94(01)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続する SCSI バスの SCSI 転送速度を 20MB/sec(Wide), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ 120Rb-1, 120Rc-1, 120Rd-2, 120Re-2 の本体 SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K410-94(01)/(02)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続する SCSI バスの SCSI 転送速度を 80MB/sec(Wide), 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Narrow)まで設定可能。
- ・ SCSI コントローラ(PCI)[N8103-42]と接続する場合
[K408-31C(01)/(1A)/(02)]を使用して下さい。
K408-31C(01)/(1A)を使用する場合は SCSI 転送速度を 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Narrow)に設定してください。
K408-31C(02)を使用する場合は SCSI 転送速度を 20MB/sec(Wide), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
- ・ SCSI コントローラ(PCI)[N8103-65]と接続する場合
[K410-94(01)/(02)]を使用して下さい。
K410-94(01)を使用する場合は SCSI 転送速度を 40MB/sec(Wide), 20MB/sec(Narrow)に設定してください。
K410-94(02)を使用する場合は SCSI 転送速度を 20MB/sec(Wide), 10MB/sec(Narrow)に設定してください。
N8551-37, N8151-37 内蔵 LTO を接続する場合は必ず K410-94(01)を使用してください。

2. バックアップ装置取り扱いについて

LT0装置 取り扱いについて

クリーニングについて

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み/読み取り等を行うと、正常に書き込み/読み取りができない、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが以下を参考にしてください

クリーニング周期	
LT0 全般	・クリーニング要求が表示された時のみ (クリーニング要求については、添付の取扱説明書を参照ください) ・使用環境によっては、バックアップ 100 時間、もしくは 1 ヶ月に 1 回のクリーニングを行ってください。

使用出来るクリーニング媒体の型番、使用回数、クリーニング方法につきましては、装置添付の取扱説明書を参照してください。

データカートリッジの寿命について

データカートリッジは書き込み/読み込み等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

LT0 テープの寿命の目安

使用回数	260 回
使用寿命	2 年 (一般事務所にて使用)
	5 年 (環境管理されたマシン室にて使用)
保管寿命	5 年

●使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなることがあります

データカートリッジの取り扱いについて

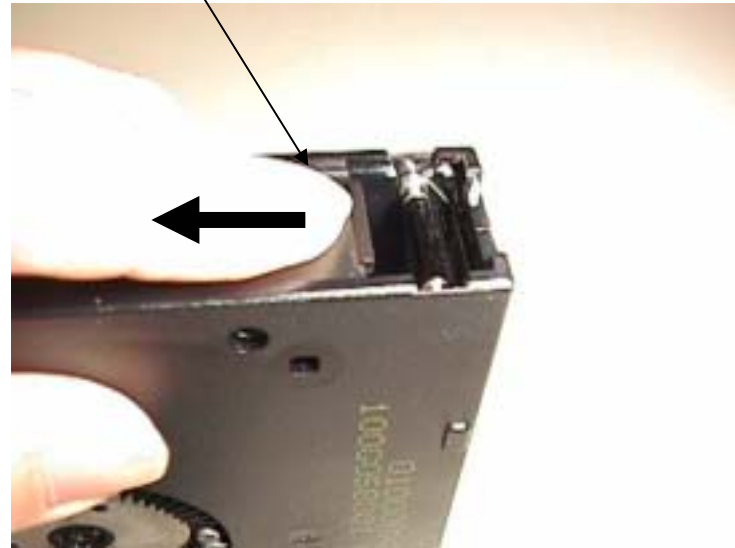
- テープ部分には触れないでください
- 磁気の発生するものを近づけないでください
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください
- 衝撃を与えないでください
- 飲食・喫煙をしながらの取り扱いはしないでください
- 装置への挿入は正しいに行ってください
- 使用後は必ずケースに入れてください

データカートリッジをご使用になる前に

- データカートリッジの外観に損傷のないことを確認します
- データカートリッジをゆっくり振り、カラカラと音がしないことを確認します。
- 以下の手順に従って、データカートリッジのリーダピンに損傷がないことを確認します



矢印の方向にスライドさせフラップを開く



【リーダピン拡大図】

この位置にリーダ・ピンがあることを目視確認する

リーダピンに損傷がないことを目視確認する

(注意) ピンが切れていたり、折れ曲がったりしていないかを確認します

DLT装置 取り扱いについて

クリーニングについて

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。 磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み／読み取り等を行うと、正常に書き込み／読み取りができない、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが以下を参考にしてください

(文中の“ N8x60 ”は“ N8160 ”または“ N8560 ”になります)

クリーニング周期	
N8x60-26/-28/-29/-30 の DLT 装置(DLT8000)	・ 液晶にクリーニング要求が表示された時のみ
上記以外の DLT 装置 (DLT7000 以前)	・ Use Cleaning Tape LED 点灯時 ・ バックアップ時間 50 時間毎に 1 回または、1 ヶ月に 1 回
N8151-38(SDLT)	・ クリーニング要求が表示された時のみ (クリーニング要求：正面 3 つの LED のうち右 LED が点灯時)

使用可能クリーニングカートリッジ型番

N8x60-26/-28/-29/-30 及びその他 DLT 装置	EF-3237E
N8151-38	EF-3237R

<DLT 共通注意事項>

・ クリーニングカートリッジは
20 回使用することができます

・ クリーニング回数はお客様にて管理
頂き、使用する前に使い切っていない
ことを確認してください

・ クリーニングは書き込み／読み取り
等、DLT 装置を使用する前に行って
ください

・ 新しいデータカートリッジに交換す
る前にはクリーニングを行ってくだ
さい

データカートリッジの寿命について

データカートリッジは書き込み/読み込み等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

DLT テープの寿命の目安

使用回数	1500 回 *
使用寿命	2 年 （一般事務所にて使用）
	5 年 （環境管理されたマシン室にて使用）
保管寿命	5 年

*全面バックアップを行う場合は、260 回を目安としてください。

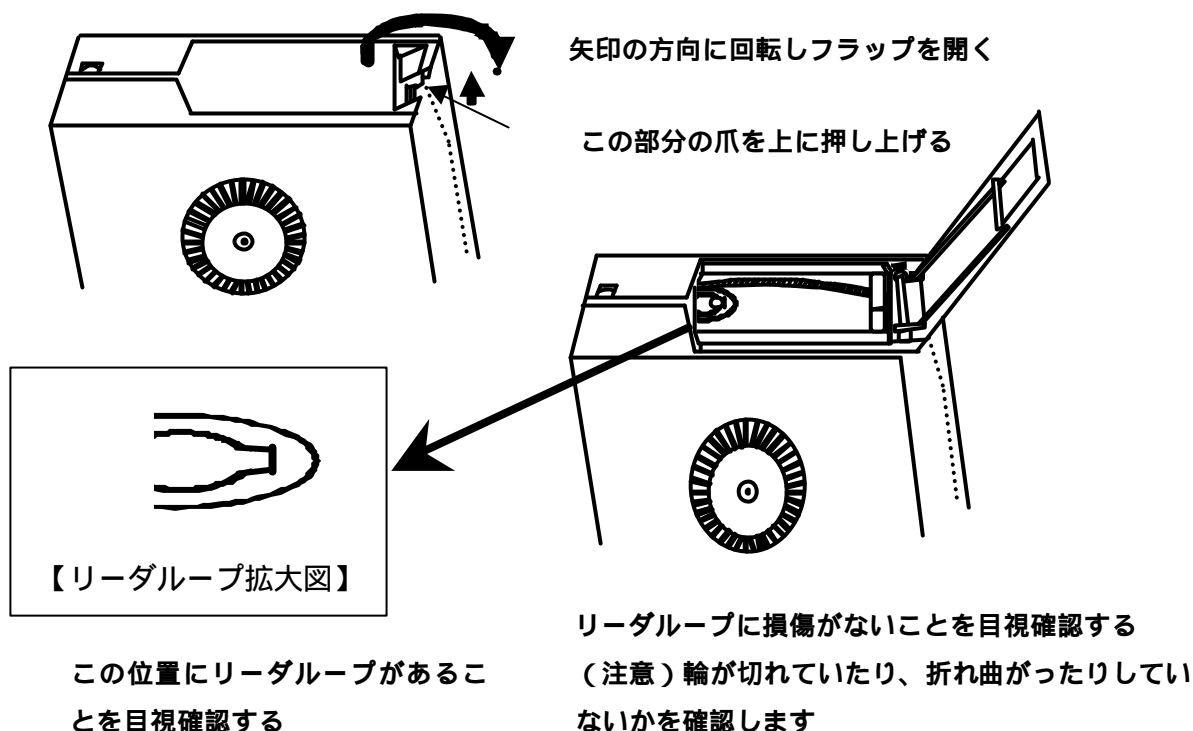
●使用環境（温度・湿度・塵埃等）によって、目安より短くなることがあります

データカートリッジの取り扱いについて

- テープ部分には触れないでください
- 磁気の発生するものを近づけないでください
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください
- 衝撃を与えないでください
- 飲食・喫煙をしながらの取扱いはしないでください
- 装置への挿入はていねいに行ってください

データカートリッジをご使用になる前に

- データカートリッジの外観に損傷のないことを確認します
- データカートリッジをゆっくり振り、カラカラと音がしないことを確認します
- 以下の手順に従って、データカートリッジのリーダループに損傷がないこと、正しい位置あることを確認します



DAT装置をご使用いただくにあたってのお願い

DAT装置の安定稼働のためには、日常の運用管理が大切です
お客さまの重要なデータを、より安全にお守りすることができます

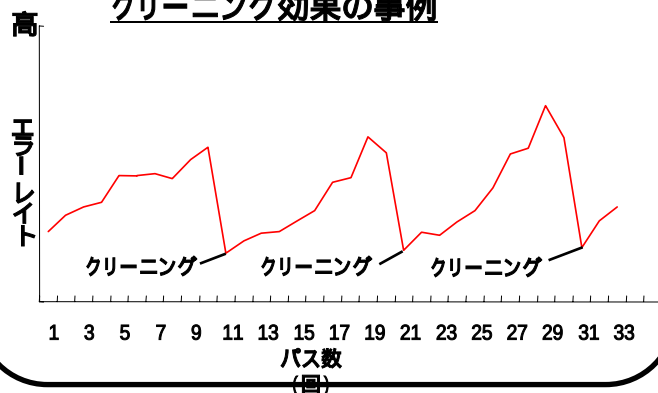
定期的なクリーニングについて

クリーニングの周期は使用環境により異なります。以下を参考にしてください。

データカートリッジ使用頻度	クリーニング周期
1日1巻以下を使用	1週間に1回
1日2～3巻を毎日使用	1週間に2回
1日4巻以上を毎日使用	毎日

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや、使用環境のほこりが磁気ヘッド表面に堆積するのを取り除く大切なものです。
日頃からの定期的なクリーニングの実施をお願いします。

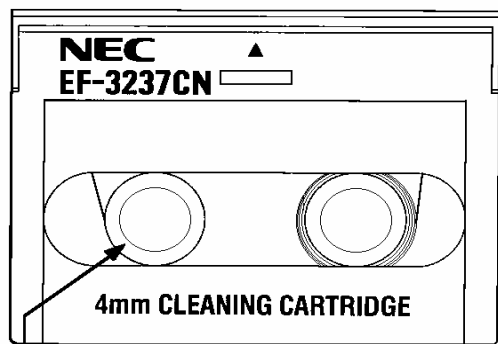
クリーニング効果の事例



- ・テープを走行させることにより、徐々にエラーレートが増加し、定期的にクリーニングをすることにより、エラーレートが低減し、装置性能を維持することができます。
- ・クリーニングを実施しないとエラーレートが増加して、障害を引き起こします。

書き込み / 読み取り系のトラブルとなります

クリーニングカートリッジの使用について



左側のリールにテープが無い場合は、テープ残量「0」を意味しますので、新規購入をお願いします。

● クリーニングカートリッジは
約50回使用することができます

● 新しいデータカートリッジに
交換する前にはクリーニングを
行ってください

● クリーニングはなるべく書き込み
/ 読み取り等、DAT装置を使用
する前に行ってください

● クリーニングカートリッジは
NEC EF-3237CNをお使いください
(標準価格 2,500円 / 巻)

データカートリッジ(テープ)の寿命について

データカートリッジの寿命は使用環境により異なります。以下を参考にしてください。

データカートリッジ使用頻度	寿命の目安
1週間に1回 / 巻	1年
1週間に3回 / 巻	半年
毎日	3ヶ月

- 使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなることがあります。
- データカートリッジは書き込み・読み取り等を行う度に消耗しています。
消耗したカートリッジを使用し続けることはトラブルの原因となりますので、定期的な一斉交換をお願いします。(使用開始より1年以内に交換することをお勧めします)

DAT装置の取り扱いについて

DAT装置を正しく動作させるために以下の注意事項をお守りください。

- ・カートリッジを入れたままでの移動はやめてください
- ・電源を切るときは、カートリッジを取り出してください
- ・カートリッジを入れたままでの長時間放置はしないでください
- ・集合型DAT装置をお使いの場合、バックアップ・リストア後はカートリッジをドライブからマガジンに戻してください
- ・外付型集合DAT装置(エアフィルタ付)をお使いの場合は装置背面のエアフィルタを最低でも半年に1度は清掃してください

DAT装置の設置について

DAT装置を下記の場所に設置することは極力避けてください。尚、変更できない場合は、クリーニング周期を短く、データカートリッジの交換を早める様、お願いします。

プリンターの周辺(トナー・紙粉)
窓際及び通路付近(土埃)
じゅうたん、カーペットの上(発塵)



・DAT装置内に、ほこりが堆積
書き込み / 読み取り系のトラブルとなります

データカートリッジの取り扱いについて



その他の注意事項は、装置添付の取扱説明書を参照してください。

AIT装置 取り扱いについて

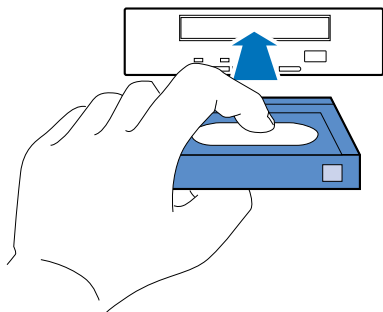
定期的なクリーニングについて

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。

磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み / 読み取り等、行いますと正常に書き込み / 読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

1週間に1回“ クリーニング ”を 必ず行いましょう

1. 装置の電源が入っていることを確認します。
2. クリーニングテープを挿入します。
3. クリーニングテープを挿入することにより、クリーニングは自動的に行われ、約35秒後に排出されます。



クリーニングテープは
NEC EF-3237J
をお使いください

クリーニングテープは、1巻あたり
約70回使用することができます。

集合型AIT装置をお使いの場合は、装置に添付されているマニュアルまたは、バックアップアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

AITテープ寿命について

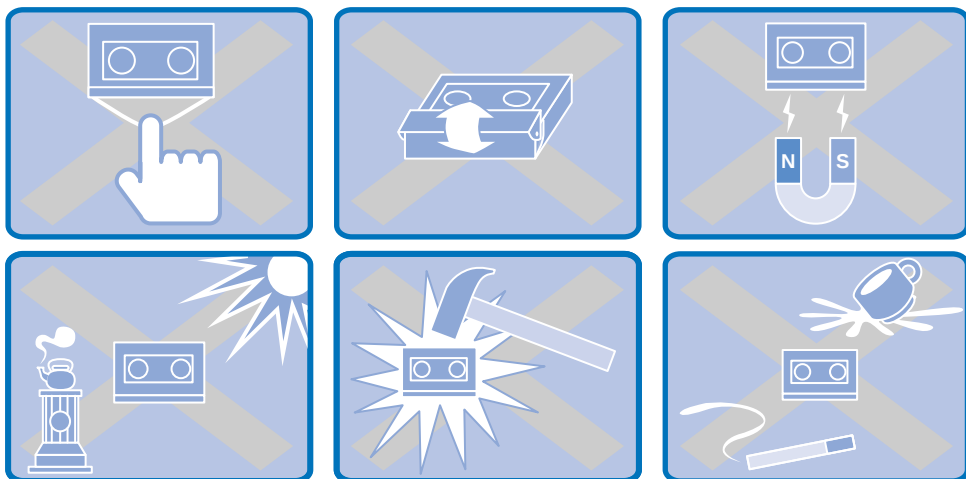
AITテープの寿命は、温度・湿度や、塵埃、ヘッドクリーニング回数などによって左右されます。

毎日1回使用した場合、使用開始より1年後に交換することをおすすめします。

また、1年未満でもエラーが頻繁に発生する場合は、その前に交換をお願いします。

データカートリッジの取り扱いについて

- (1) テープ部分にはふれないでください。
- (2) テープカバーを開閉しないでください。
- (3) 磁気の発生するものを近づけないでください。
- (4) 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。
- (5) 衝撃を与えないでください。
- (6) 飲食・喫煙をしながらの取り扱いはしないでください。
- (7) 周囲温度にじゅうぶんなじませてから使用してください。



AIT装置の取り扱いについて

AIT装置を正しく動作させるために以下の注意事項をお守りください
(下記注意事項以外にも添付の取扱説明書をよく読み正しくお取り扱いください)

- カートリッジ、マガジンを入れたままでの移動はやめてください
移動する場合は、必ずカートリッジ、マガジンをAIT装置から取り出してください。
衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを痛める場合があります。
- 電源を切るときは、カートリッジを取り出してください
カートリッジを入れたままで電源を入れるとカートリッジの寿命が短くなったり
バックアップに失敗する場合があります。集合AITをお使いのお客様は、マガジンを取り出すかカートリッジをドライブからマガジンに戻した状態で電源を切ってください。
- カートリッジ、マガジンが挿入口から飛び出している状態で
長期間放置しないでください
カートリッジの寿命が短くなったりAIT装置の故障の原因となることがあります。

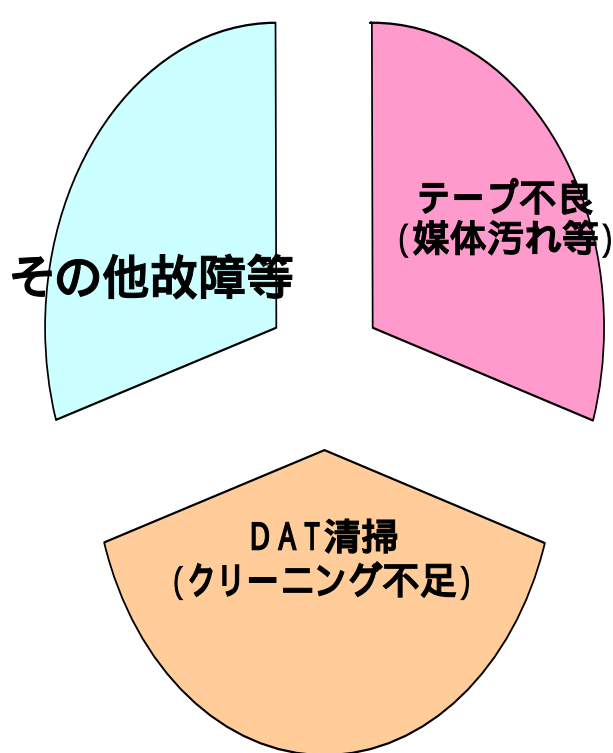
3. バックアップ装置をご使用いただくにあたってのお願い

DAT装置をご使用いただくにあたってのお願い

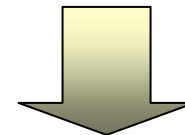
DAT装置の取扱いは、日常の運用管理が大切です。
システムを管理するお客様にて注意事項をお守り下さいますようお願い申し上げます。

日本電気株式会社

■ DATの障害原因



DAT障害の6割以上は、「媒体汚れ」と「クリーニング不足」が原因です。障害減少のための最大の課題は、クリーニングの定期的な実施と、テープの使用回数の管理です。



クリーニングや、テープの使用管理をこまめに行うことで、これらの障害は事前防止できます

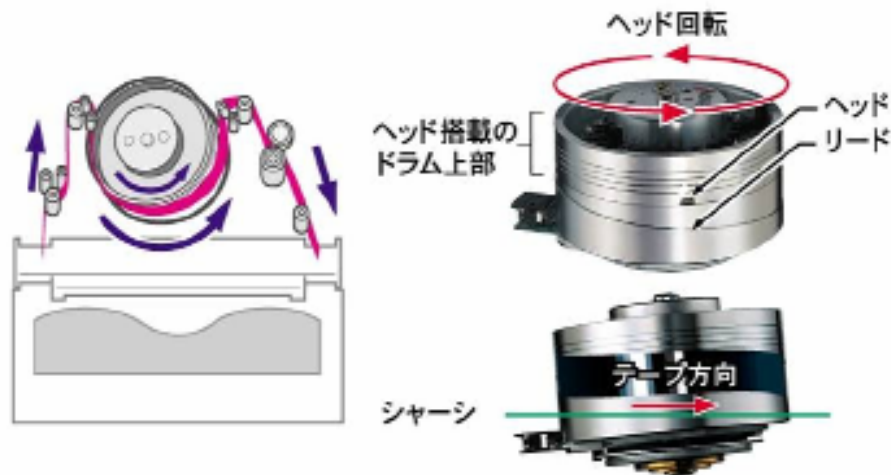
■ DAT装置ご使用に際して

- DAT装置(DDS)をご使用いただく際には、クリーニングテープを使用し、定期的にヘッドを清掃することが不可欠です。
クリーニングしない状態で長期間使用すると、ヘッドに汚れが堆積し、Read / Write系の障害が発生します。
- テープは使用する度に消耗していきます。
消耗したテープは、テープそのものが使えなくなるだけでなく、テープについた汚れがヘッドに転写し、他のテープの障害も引き起こします。

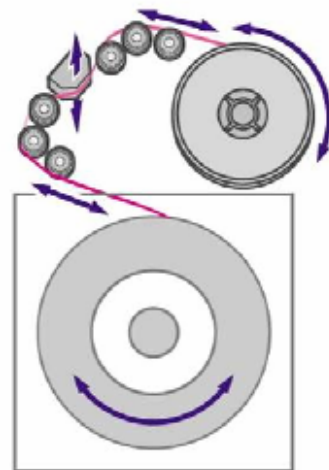
日頃からヘッド清掃とテープ交換を定期的に行うことにより、装置の安定稼動が維持出来ます。

テープの記録方式

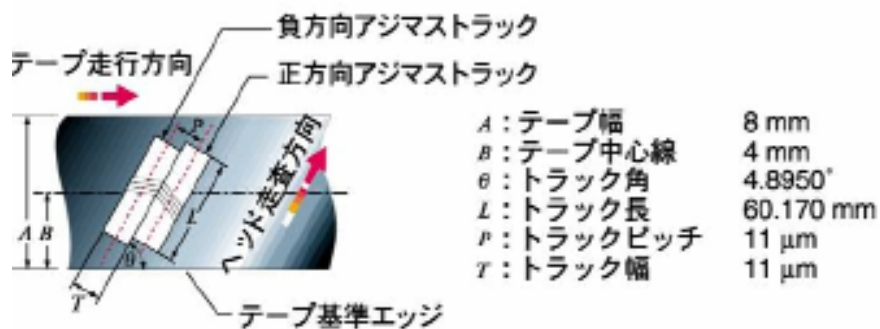
●ヘリカルスキャン方式のテープバスと記録方式



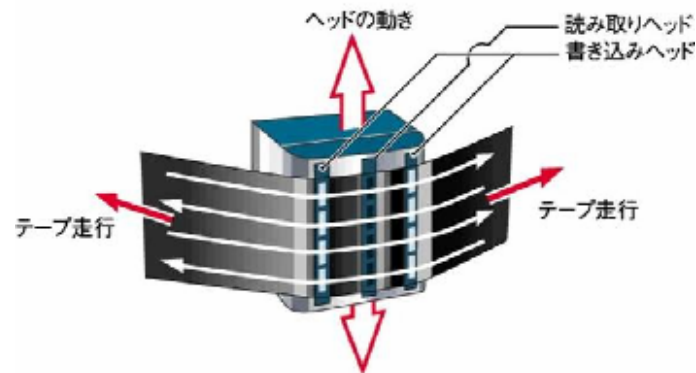
●リニアレコーディング方式のテープバス



●ヘリカルスキャン方式のトラックパターン



●リニアレコーディング方式

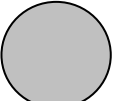
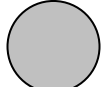


DAT各種テープの記録密度比較

ヘリカルスキャン系（回転ドラムにヘッドが複数搭載され、ドラムを回転しながらテープに対して斜めに記録していく。VTRと同様の構造）

装置名	DDS-2	DDS-3	DDS-4	AIT-1	AIT-2	AIT-3
記憶容量 [GB]	4	12	20	25	50	100
テープ幅 [mm]	3.81	3.81	3.81	8	8	8
テープ長 [m]	124.5	125	150	170	230	230
面記録密度 [MB/cm ²]	0.85	2.52	3.50	1.84	2.72	5.43
相対ビットサイズ						

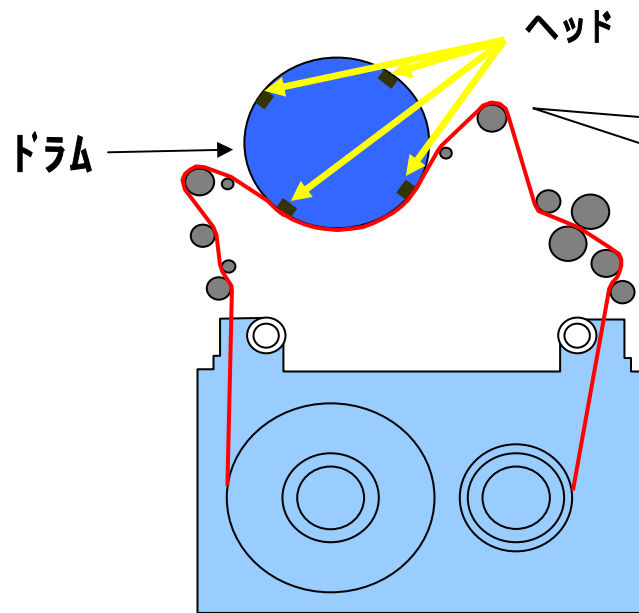
リニア系（複数のヘッドを有し、テープに対して横に記録していく。
ヘッドを上下に動かすことで、トラックを切替える。カセットテープが同様な構造）

装置名	DLT7000	DLT8000	SDLT	LTO	LTO2
記憶容量	35	40	110	100	200
テープ幅[mm]	12.7	12.7	12.7	12.7	12.7
テープ長[m]	557	557	557	609	609
面記録密度 [MB/cm ²]	0.49	0.57	1.56	1.29	2.59
相対ビットサイズ					

DDS3/4, AIT3は
こんなに小さい！

ゴミの影響を
受けやすい

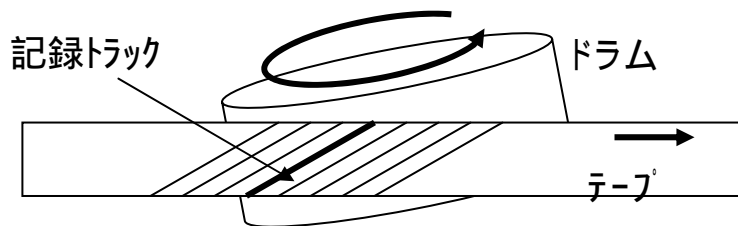
DATの走行系構造



DATの走行系

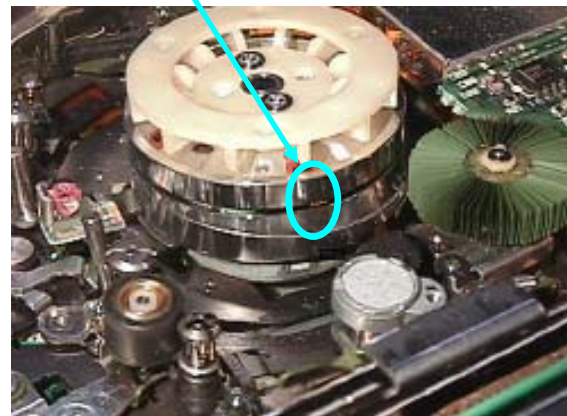
DATはテープをカセットから引き出し、ドラムに巻きつけます。
ドラムにはヘッドが4カ所(ライトヘッド2カ所、リードヘッド2カ所)あり、データの書き込み、読み取りをおこないます。

- ・高速回転(3,800 ~ 11,000回/分)しているヘッドが繰り返しテープに接触します



DATの記録密度は、全テープ装置で最大級ですので、僅かな汚れや傷でも影響を受けます

ヘッド



ドラム、ヘッド写真

■テープの汚れ

テープ自体から出る汚れ

磁性粉
バインダ

外部から侵入する塵埃

砂埃
綿埃
たばこのヤニ
トナー
排気ガス
その他
(ex. ガラス粉、虫)

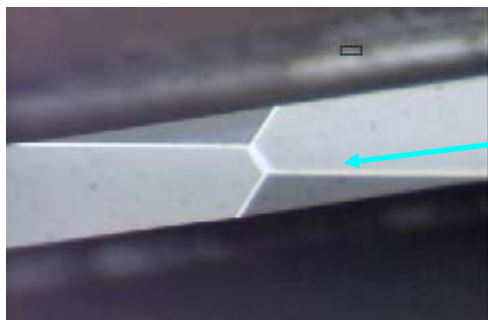
定期的なクリーニング/
媒体交換で解消

テープの劣化(寿命)
外部の埃による傷
テープ保管環境が不適切
(高温・多湿)

設置環境がよくない

設置環境が悪いと、
クリーニングしてもす
ぐだめになります。
設置環境改善も必要

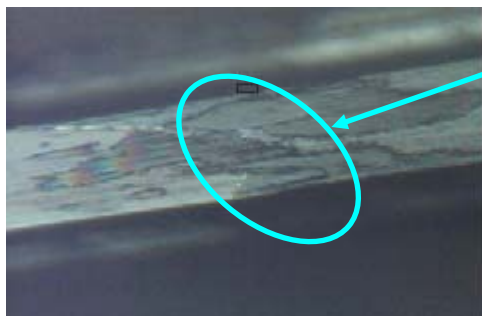
<ヘッド部拡大図>



この部分でデータの書き込み、読み取りをおこないます。ここに汚れが付着しますと、データの書き込み、読み取りができなくなります。



クリーニングをせずに使用し続けると
ヘッドに汚れがつきます

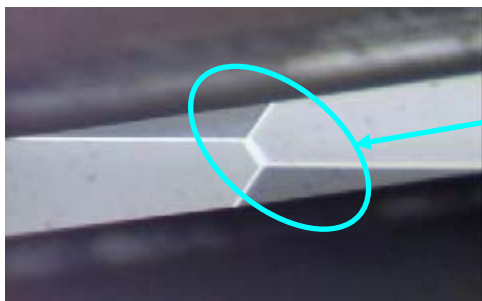


この状態では正常な書き込み、読み取りはできません。

汚れ成分は、テープから出る粘着性のゴミ、磁性粉や空気中のほこり(特にタバコのヤニ、プリンタ/コピー機のトナーは大敵)等があります。



クリーニングを実行



ヘッドに付着していた汚れがきれいに取れ、書き込み、読み取りが正常にできるようになります。

汚れたテープからの転写

ヘッドをクリーニングしてもすぐにメディアエラーを起こす場合、テープに付いている汚れが原因と考えられます。

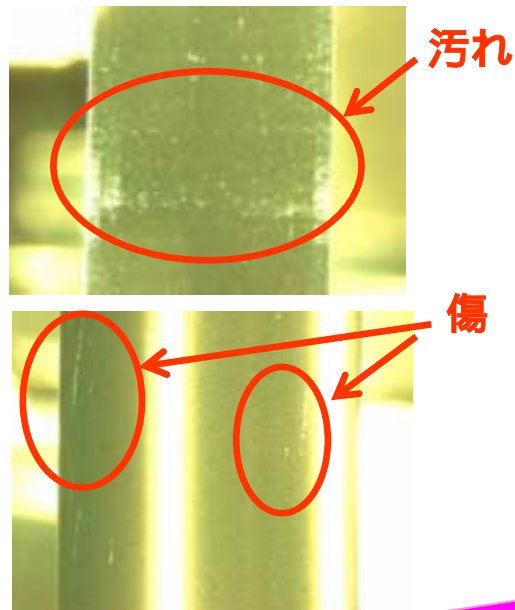
汚れは、テープからヘッド、ヘッドからテープと転写を繰り返します。

このため、汚れたテープときれいなテープを混在して使用すると、汚れたテープから出た汚れが、ヘッドを介してきれいなテープにも付着し、エラーとなるケースが多々見受けられます。

ヘッドクリーニングとエラーとなったテープの交換で障害が収まらない場合、再度ヘッドをクリーニングするとともに、使用中の全テープを交換願います。

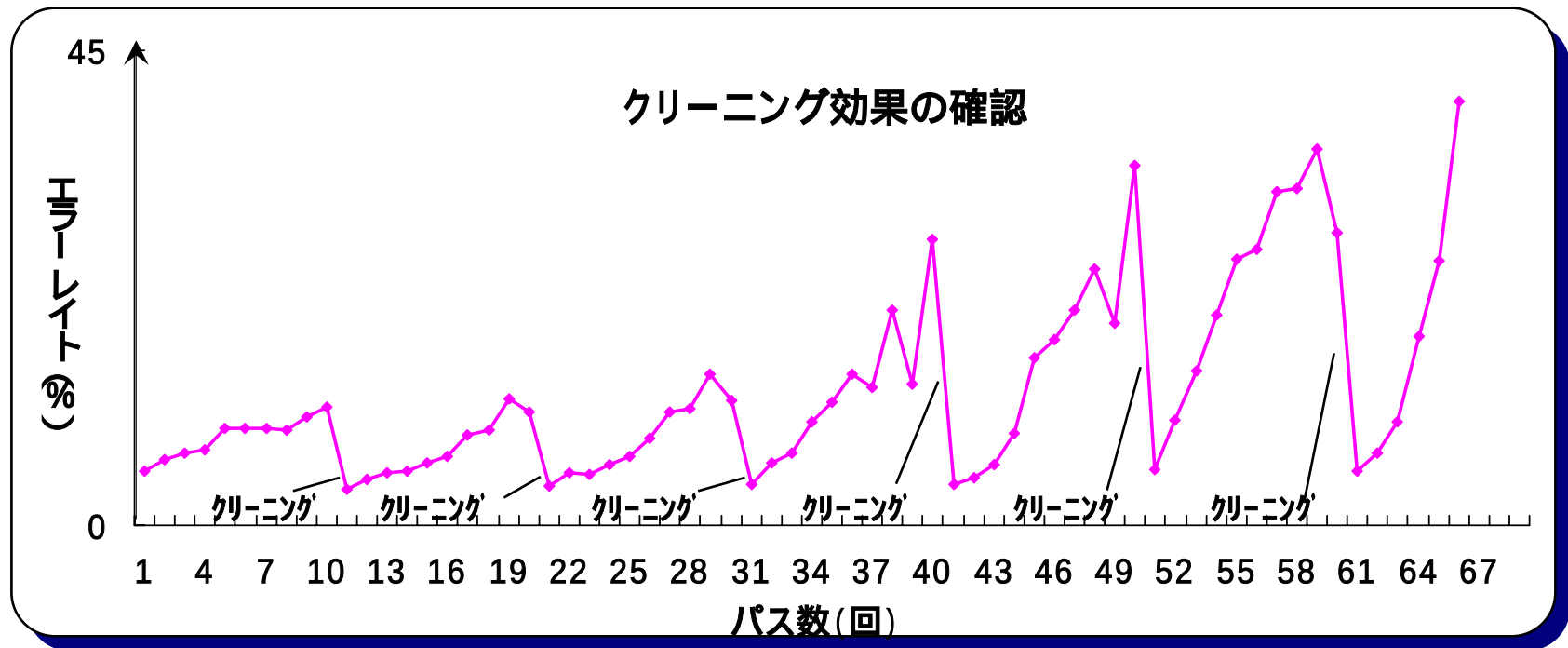


きれいなヘッドのテープ装置に汚れや傷やの付いたテープを使用すると



Loadしただけで汚れがヘッドに付く

■ クリーニングテープの効果(加速試験)

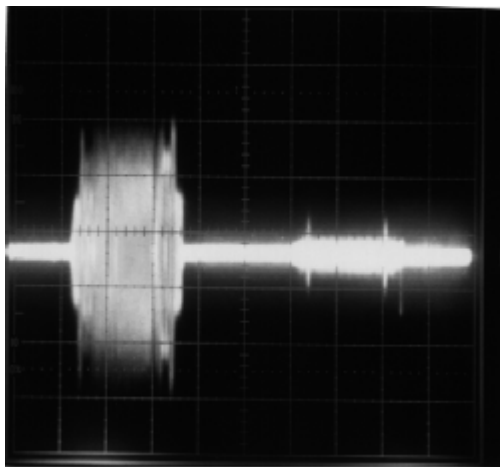


- テープを走行させることにより、徐々にエラーレートが増加します。
- 定期的にクリーニングをすることにより、エラーレートが低減し、装置性能を維持することができます。
- クリーニングを実施しないとエラーレートが増加して、障害を引き起こします。またヘッドに汚れが堆積し、クリーニングを実施しても、エラーレートが低減しない状態となります。(R/W系障害 → 装置交換)

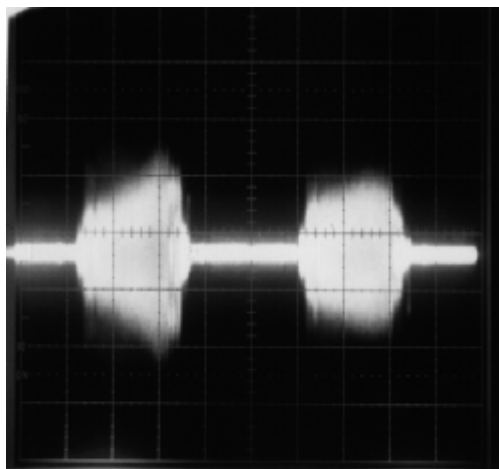
■ 障害品解析状況

(1) 記録信号の出力調査

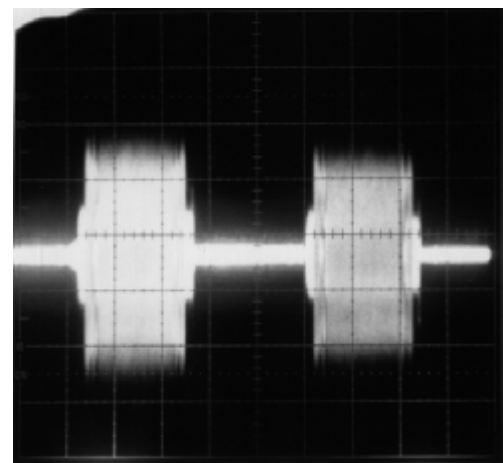
Read / Write系障害が発生したテープの出力状態は
信号出力が低下しています。



クリーニング不足
R / W系障害
片チャンネル
ヘッド出力低下



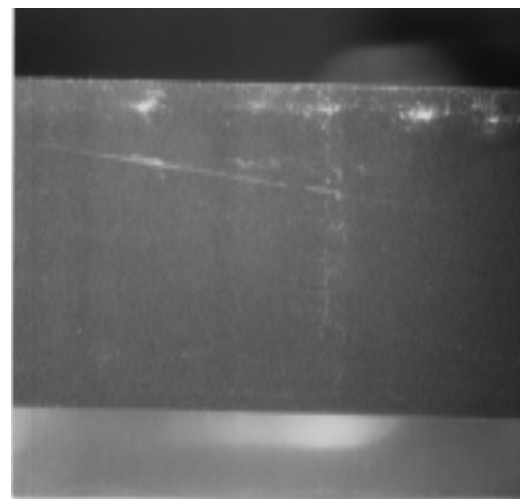
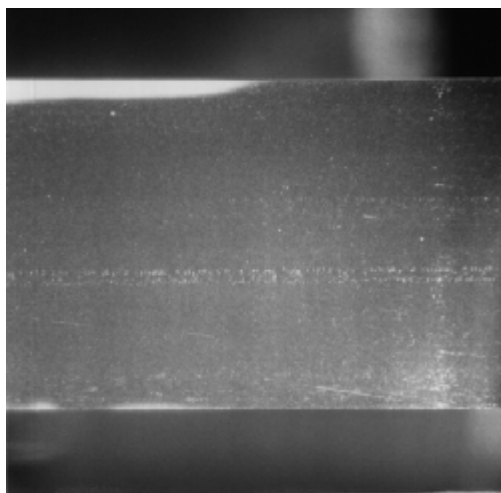
クリーニング不足
R / W系障害
両チャンネル
ヘッド出力低下



クリーニングを
定期的に実施
R / W正常波形

(2) テープ表面状態

Read/Write系障害が発生したテープや、消耗したテープの表面には、ヘッド走行傷があったり、ダスト付着が見られます。

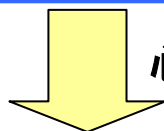


- この状態では、Read/Write不可(データテープは使用不可)で、場合によっては、DAT装置の交換が必要となります。

■ 設置環境の改善提案

ヘッドをクリーニングしても、次から次へと外部からゴミが入ってくると直ぐヘッドが汚れてしまいます。お客様の設置環境を見直すことも必要です。次の点をチェックしてみてください。

- ・コピー機やプリンタなどトナーの粉塵が発生する場所の近くにはないか？
- ・エアコンの吹き出し口が近くにはないか？（吹き出し口が黒く汚れている場合は要注意）
- ・人の出入りの多い入り口・ドア付近に設置されていないか？（特にドアの向こうが道路や駐車場の場合は要注意）
- ・窓際にあり、窓が開けられたり直射日光を受けていないか？
- ・カーペットなど埃の立ちやすい床の近くに設置されていないか？
- ・寒暖の差が激しい場所に設置されていないか？（ドアが開くと冷たい空気が入ってくる場所は要注意）
- ・近くでタバコを吸う人や喫煙所がないか？
- ・特殊な作業場などが近くにはないか？（工事現場、ガラス工芸、・・・）
- ・サーバの吸い込み／吹き出し口が汚れている場合は埃が中で舞っていることがあります。



心当たりがあるときは...

テープ装置をゴミから遠ざけるようにしましょう

- ・装置の配置を変更する
- ・床から高い位置にする

- ・塵埃の発生源を遠ざける
- ・吸い込み口を定期的に掃除する

DAT装置の汚れの一例



リール反射板汚れ



フロントパネル、外筐を外した様子(フロント側)



メイン基板(底部フロント側)

■ テープ装置からのクリーニング要求(詳細は取扱説明書を参照)

- ・エラーレートの上昇等検出した場合、テープ装置からクリーニング要求があがりますので、クリーニングを行って下さい。

(1) ライブラリや集合型装置

表示パネル(LCD)に 以下の表示が出ます。

Clean me (6巻タイプのDDS3/4集合型)

Clean Req (8巻タイプDDS4集合、4巻タイプAIT集合)

Cleaning Request (8巻タイプのAIT集合型、16巻タイプのAITリブラリなど)

(2) 単体ドライブ

cleaning要求LEDがある装置 (単体LTO、単体AIT3 など)

LEDの組み合わせで、表示する装置 (単体DDS3/4、単体AIT1/2)

- ・statusのLEDが、

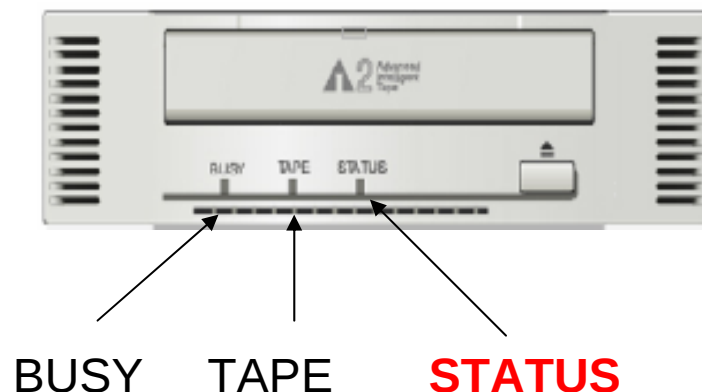
「**長い点灯と短い消灯の繰り返し**」の時

ちなみに、「等間隔で点滅」は、

《クリーニングテープが使い切ってしまった》

「短い点灯(1～2回)と長い消灯」は

《装置の故障》を表します。



LED 表示内容

DDS-3単体及び外付け、DDS-4単体、外付け及び集合

テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	対処方法
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	点灯又は消灯 消灯 消灯	・BUSYが点灯しているときはSCSIがアクティブです。 ・データカートリッジが挿入されています	-
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	等間隔に点滅 点灯 ***	・データカートリッジが走行中で、読み取り/書き込み動作を行っています。	この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	等間隔に点滅 等間隔に点滅 ***	・データカートリッジの出し入れを行っています。	この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	点灯、消灯、または等間隔に点滅 点灯 ***	・データカートリッジが挿入されています。	この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	*** 点灯 点灯	・挿入されたデータカートリッジが書き込み禁止状態になっています。	この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	消灯 点灯 等間隔に点滅	・クリーニングカートリッジを使いきってしまった。	新しいクリーニングカートリッジと交換してください。また、交換された古いクリーニングカートリッジは再使用しないでください。
正常	正常	BUSY TAPE STATUS	*** *** 長い点灯と短い消灯の繰り返し	・クリーニング要求を意味します。	・クリーニングを実施してください。 ・クリーニングを実施後、すぐに同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。
正常または異常	正常	BUSY TAPE STATUS	*** 長い点灯と短い消灯の繰り返し ***	・データカートリッジが挿入されており、定義されたメディアウォーニングしきい値を超えたエラーが発生しています。 「警告のみ」(データカートリッジが劣化)	・純正のクリーニングカートリッジを使用してヘッドのクリーニングを実施してください。クリーニング後再度データカートリッジを挿入し同じエラーが発生した場合には、新しいデータカートリッジを使用してください。(または、クリーニング後)
正常または異常	正常または異常	BUSY TAPE STATUS	短い点灯と長い消灯の繰り返し *** ***	・リセット待機状態	・データカートリッジは、EJECTボタンを押しても排出しません。但しEJECTボタンを10秒以上押しつづけることにより強制的に排出させることが可能です。強制排出はテープを傷つける可能性もありますので、緊急処置とお考えいただき、まずは電源OFF/ONによる再起動を行ってください。 ・DAT装置がハード的に故障している可能性があります。 ・電源のOFF/ONによる再起動を行って下さい。再起動後も同じエラーが発生した場合は故障です。DAT装置の交換が必要です。
正常または異常	正常または異常	BUSY TAPE STATUS	*** 短い点灯と長い消灯の繰り返し ***	・イジェクト待機状態	・データカートリッジを取り出してください。新しいデータカートリッジを使用してください。データカートリッジを変えてもこのエラーが発生した場合は故障です。DAT装置の交換が必要です。
異常	異常	BUSY TAPE STATUS	*** *** 短い点灯(2回)と長い消灯の繰り返し	・装置が異常です	・DAT装置がハード的に故障しています。 ・DAT装置の交換が必要です。また、このとき使用していたデータカートリッジは、ハード故障によりデータが破壊している可能性があるため、別のデータカートリッジを使用してください。なお、このエラーが発生したDAT装置及びデータカートリッジは再使用しないでください。

AIT-1A単体、AIT-2単体及び外付け

LED	表示状態	意 味
BUSY LED	消灯	-
	点灯	データの送受信中。
	点滅	セットされているデータカートリッジのデータが正常にリード/ライトされている。
TAPE LED	消灯	データカートリッジがセットされていない。
	点灯	データカートリッジがセットされている。
	点滅(等間隔)	データカートリッジのセット/取り出しをしている。
	点滅(長い点灯と短い点灯の繰り返し)	セットしているデータカートリッジが劣化している。
STATUS LED	消灯	セットしているデータカートリッジがデータを書き込める状態にある。
	点灯	セットしているデータカートリッジがデータを書き込めない状態にある(ライトプロテクトされている)
	点滅(長い点灯と短い点滅の繰り返し)	本装置のヘッドクリーニングが必要である。
	点滅(等間隔)	ヘッドクリーニング中、クリーニングカートリッジのテープが終了した。
	点滅(短い点灯(1回ないし2回)と長い点灯の繰り返し)	本装置が故障している。

AIT-1A集合、AIT-2集合

LED	表示状態	意 味
BUSY LED	消灯	-
	点灯	SCSIインタフェースが有効になっている。
	点滅	リード/ライトドライブにセットされているAITカートリッジのデータの読み取り中や書き込み中、サーチやテープの巻き戻し中。
TAPE LED	消灯	-
	点灯	AITカートリッジがリード/ライトドライブにセットされている。
	点滅	AITカートリッジがリード/ライトドライブから出し入れされている間。

AIT-3単体

LED	TAPE MOTION	CLEANING REQUEST	REPLACE TAPE
消灯	データカートリッジがセットされていない。	本装置のクリーニングの必要はない。	データカートリッジにエラーは起きていない。
点灯	データカートリッジがセットされている。	本装置のクリーニングが必要である。	データカートリッジにエラーは起きている。
点滅(Slowly)	セットされているデータカートリッジが正常に動いている(低速)。	ヘッドクリーニング中、クリーニングカートリッジのテープが終了した。	-
点滅(Fast)	セットされているデータカートリッジが正常に動いている(高速)。	-	-
全てのLEDが点滅(Fast)	本装置が故障している。		

バックアップ装置対応ソフトウェア一覧(スタンダードサーバ)

WindowsNT/2000

	装置種類 (型名)	タイプ		NT Backup				ARCserve															
				Windows NT 3.51	Windows NT 4.0	Windows 2000	Windows Server 2003	ARCserve J1.0	Changer Option J1.0	ARCserve J2.01	Changer Option J1.01	ARCserve J6.0	Changer Option J2.0	ARCserve J6.5	Tape Library Option J3.0	ARCserve J6.61 for WinNT	ARCserve J6.61 for Win2K	ARCserve 2000	Tape Library Option	ARCserve V9	Tape Library Option		
対応OS	Windows NT 3.5			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	Windows NT 3.51			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	Windows NT 4.0			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	Windows 2000			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	Windows Server 2003			x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	x	o	x	x	x	x	-	x	-	x	-	o*4	-	o	o	o	-	o	-	
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	o*4	-	o	o	o	-	o	-	
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	x	x	x	x	x	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	o	-	o	-	
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	o	o	x	x	o	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	o	-	o	-	
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	o	o	x	x	o	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	o	-	o	-	
	N8551-12																						
	N8551-12A	内蔵DAT	DDS3	o*w1	o*w2	o*w3	o	x	-	x	-	o*1	-	o	-	o	o	o	-	o	-		
	N8551-12BC																						
	N8151-12BC																						
	N8551-26																						
	N8151-26	内蔵DAT	DDS4	x	o*w4	o	o	x	-	x	-	x	-	x	-	o*5	o	o	-	o	-		
	N8151-43																						
	N8151-45																						
	N8151-51	内蔵DAT	DAT72	x	x	o*w4	o*w4	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	x	-	o*16	-		
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	x	x	x	x	o	o	-	o	-	o	-	o	-	x	x	o	-	o	-	
	N8551-13																						
	N8551-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	x	x	x	x	x	x		x		o*2		o	o	o	o	-	o	-		
	N8151-13AC																						
	N8551-27	内蔵DAT集合型	DDS4	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*6	o	o	o	-	o	-		
	N8151-27																						
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*12	-	o	-		
	N8560-02	外付DAT	DDS1	x	x	x	x	x	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	o	-	o	-	
	N8560-12	外付DAT	DDS3	o*w1	o*w2	o*w3	o	x	-	x	-	o*1	-	o	-	o	o	o	-	o	-		
	N8560-12AC																						
	N8560-22	外付DAT	DDS4	x	o*w4	o	o	x	-	x	-	x	-	x	-	o*6	o	o	-	o	-		
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	x	x	x	x	o	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	x	x	x	x	o	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8560-13	外付DAT集合型	DDS3	x	x	x	x	o	o	-	x	-	o*2		o	o	o	-	o	-	o	-	
N8560-13AC																							
N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*6	o	o	-	o	-	o	-		
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	x	o*w4	x	x	x	-	x	-	x	-	o*3	-	o*5	o	o	-	o	-		
	N8551-34																						
	N8151-34	内蔵AIT	AIT1	x	o*w4	o*w4	o	x	-	x	-	x	-	o*3	-	o*5	o	o	-	o	-		
	N8151-34A																						
	N8151-34B	内蔵AIT	AIT1	x	x	o*w4	o*w4	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o	-	o	-		
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	x	o*w4	o*w4	o	x	-	x	-	x	-	x	-	x	-	o*14	-	o	-		
	N8551-28																						
	N8151-28	内蔵AIT	AIT2	x	o*w4	o*w4	o	x	-	x	-	x	-	x	-	o*5	o	o	-	o	-		
	N8151-44																						
	N8151-46	内蔵AIT	AIT2	x	x	o*w4	o*w4	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o	-	o	-		
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	x	x	o*w4	o	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*12	-	o	-		
	N8151-41A																						
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*3	o*5	o	o	-	o	-			
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*3	o*5	o	o	-	o	-			
	N8151-36																						
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*6	o	o	-	o	-	o	-		
	N8151-29																						
	N8160-43	AIT集合型(ラックマウント用)	AIT3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*13	-	o	-			
	N8160-41	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT2	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*8,12	-	o	-			
	N8160-44	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*8,13	-	o	-			
N8560-16	外付AIT	AIT1	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	o*3	-	o*5	o	-	o	-			
N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*3	o*5	o	o	-	o	-	o	-		
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	x	x	x	x	x	x	-	x	-	o	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*12	-	o	-	
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	x	x	x	x	x	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	x	x	x	x	x	o	-	o	-	o	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	o	-	o	o	-	o	-		
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	-	o	-		
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	x	x	x	x	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o	-	o	-		
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*3	o	o	o	-	o	-			
	N8560-21	DLT集合型(ラックマウント用)	DLT7000	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*3	o	o	o	-	o	-			
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*6	o	o	-	o	-			
	N8160-29																						
	N8560-30	DLT集合型(ラックマウント用)	DLT8000	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*6	o	o	-	o	-			
	N8160-30																						
	N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*6,7	o*7	o*8,10	-	o*8,10	-			
	N8160-26																						
LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultrium-1	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*9	-	o	-	
	N8151-40	内蔵LTO	Ultrium-1	x	o*w4	o*w4	o	x	-	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*12	-	o	-
	N8151-49	内蔵LTO	Ultrium-2	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*15	-	o	-	
	N8560-39	外付LTO	Ultrium-1	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*9	-	o	-	
	N8160-39																						
	N8160-46	外付LTO	Ultrium-1	x	x	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	o*12	-	o	-	
	N8560-32	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*8,10,11	-	o*8,10	-		
	N8160-32																						
	N8160-34	外付LTO集合型	Ultrium-1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*12	-	o	-		
	N8160-35	LTO集合型(ラックマウント用)	Ultrium-1	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*12	-	o	-		
N8160-47	LTO集合型(ラックマウント用)	Ultrium-2	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*8,10,15	-	o*8,10	-			
N8160-50	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-2	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	o*8,10,15	-	o*8,10	-			
CGMT	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	x	x	x	x	o	-	o	-	x	-	x	-	x	-	x	x	-	x	-	
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	x	x	x	x	o	-	o	-	x	-	x	-	x	-	x	x	-	x	-	

	装置種類 (型名)	タイプ	Backup Exec											
			Backup Exec 7.0J	オート ーション	Backup Exec 7.3/7.2	オート ーション	Backup Exec 8.0	LibraryExpansion ーション	Backup Exec 8.5	LibraryExpansion ーション	Backup Exec 8.6	LibraryExpansion ーション	Backup Exec 9.0	LibraryExpansion ーション
対応OS	Windows NT 3.5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Windows NT 3.51		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Windows NT 4.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Windows 2000		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Windows Server 2003		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	○*a	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	○*a	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	×	-	×	-	×	-	×	-	×	-	×
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-12	内蔵DAT	DDS3	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-12A			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-12BC			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-12BC			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-26	内蔵DAT	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-26			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-43			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-45			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-51	内蔵DAT	DAT72	×	-	×	-	×	-	×	-	×	-	○*n
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-13	内蔵DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-13AC			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-13AC			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-27	内蔵DAT集合型	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-27	内蔵DAT集合型	DDS4	×	-	×	-	×	-	○	-	○	-	○
	N8151-39			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-02	外付DAT	DDS1	×	-	×	-	×	-	×	-	×	-	×
	N8560-12	外付DAT	DDS3	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-12AC	外付DAT	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-22			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-13	外付DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-13AC	外付DAT集合型	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○	-	○	-	○
N8560-23	○			-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-34	内蔵AIT	AIT1	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-34			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-34A			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-34B	内蔵AIT	AIT1	×	-	×	-	×	-	×	-	○	-	○
	N8151-50	内蔵AIT (IDE)	AIT1	×	-	×	-	×	-	×	-	○*k	-	○
	N8551-28	内蔵AIT	AIT2	○*a	-	○*a	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-28			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-44			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-46			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-46A	内蔵AIT	AIT2	×	-	×	-	×	-	×	-	○	-	○
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	×	-	×	-	×	-	×	-	○*h	-	○
	N8151-41A			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	○*a	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	○*a	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-36			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	×	-	×	-	○*d	-	○	-	○	-	○
	N8151-29	AIT集合型 (ラックマウント用)	AIT3	×	-	×	-	×	-	×	-	○*k	-	○
	N8160-43			×	-	×	-	×	-	×	-	○*c,h	-	○*c
	N8160-41			×	-	×	-	×	-	×	-	○*c,k	-	○*c
	N8160-44	AITライブラリ (ラックマウント用)	AIT3	×	-	×	-	×	-	×	-	○*c,k	-	○*c
	N8560-16	外付AIT	AIT1	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	○*a	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-17			○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	×	-	×	-	×	-	×	-	○	-	○
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-21	DLT集合型 (ラックマウント用)	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	×	-	×	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8160-29			×	-	×	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8160-30			×	-	×	-	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	×	-	×	-	○*c,e	-	○*c,e	-	○*c,e	-	○*c,e
	N8160-26			×	-	×	-	○*c,e	-	○*c,e	-	○*c,e	-	○*c,e
	LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultrium-1	×	-	×	-	○*b	-	○*b	-	○	-
N8151-37		×			-	×	-	×	-	○*b	-	○	-	○
N8151-40		×			-	×	-	×	-	○*m	-	○	-	○
N8151-49		内蔵LTO	Ultrium-2	×	-	×	-	×	-	×	-	○	-	○
N8560-39		外付LTO	Ultrium-1	×	-	×	-	○*b	-	○*b	-	○	-	○
N8160-39				×	-	×	-	○*b	-	○	-	○	-	○
N8160-46		外付LTO	Ultrium-1	×	-	×	-	×	-	○*b	-	○	-	○
N8560-32		Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-1	×	-	×	-	×	-	○*c,e,f	-	○*c,e	-	○*c,e
N8160-32				×	-	×	-	×	-	○*g	-	○	-	○
N8160-34		外付LTO集合型	Ultrium-1	×	-	×	-	×	-	○*g	-	○	-	○
CGMT	N8160-35	LTO集合型 (ラックマウント用)	Ultrium-1	×	-	×	-	×	-	○*g	-	○	-	○
	N8160-47	LTO集合型 (ラックマウント用)	Ultrium-2	×	-	×	-	×	-	×	-	×	-	○
	N8160-50	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-2	×	-	×	-	×	-	×	-	×	-	○
	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○

	装置種類 (型名)	タイプ	NetBackup		
			NetBackup 3.2	NetBackup 3.4	NetBackup 4.5
対応OS	Windows NT 3.5		-	-	-
	Windows NT 3.51		-	-	-
	Windows NT 4.0		○	○	○
	Windows 2000		-	○	○
	Windows Server 2003		-	○	○
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	×	○
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	×	×
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	×	×
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	×	×
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	×	×
	N8551-12				
	N8551-12A	内蔵DAT	DDS3	×	○
	N8551-12BC				
	N8151-12BC				
	N8551-26				
	N8151-26	内蔵DAT	DDS4	×	○
	N8151-43				
	N8151-45				
	N8151-51	内蔵DAT	DAT72	×	×
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	×	×
	N8551-13				
	N8551-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	○	○
	N8151-13AC				
	N8551-27				
	N8151-27	内蔵DAT集合型	DDS4	×	○
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	×	○
	N8560-02	外付DAT	DDS1	×	×
	N8560-12				
	N8560-12AC	外付DAT	DDS3	×	○
	N8560-22	外付DAT	DDS4	×	○
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	×	×
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	×	×
	N8560-13				
	N8560-13AC	外付DAT集合型	DDS3	○	○
	N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	×	○
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	×	○
	N8551-34				
	N8151-34	内蔵AIT	AIT1	×	○
	N8151-34A				
	N8151-34B	内蔵AIT	AIT1	×	○
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	×	×
	N8551-28				
	N8151-28	内蔵AIT	AIT2	×	○
	N8151-44				
	N8151-46				
	N8151-46A	内蔵AIT	AIT2	×	○
	N8151-41				
	N8151-41A	内蔵AIT	AIT3	×	○
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	×	○
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	×	○
	N8151-36				
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	×	○
	N8151-29				
	N8160-43	AIT集合型(ラックマウント用)	AIT3	×	○
	N8160-41	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT2	×	○
	N8160-44	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT3	×	○
DLT	N8560-16	外付AIT	AIT1	×	○
	N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	×	○
	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	○*A	○*A
	N8551-17				
	N8151-17	内蔵DLT	DLT7000	○*A	○*A
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	×	○
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	○*A	○*A
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	○*A	○*A
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	○*A	○*A
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	○*A	○*A
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	○*A	○*A
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	○*A	○*A
	N8560-21	DLT集合型(ラックマウント用)	DLT7000	○*A	○*A
	N8560-29				
	N8160-29	外付DLT集合型	DLT8000	×	○*A
	N8560-30				
	N8160-30	DLT集合型(ラックマウント用)	DLT8000	×	○*A
	N8560-26				
	N8160-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	○*A	○*A
LTO	N8551-37				
	N8151-37	内蔵LTO	Ultrium-1	×	○
	N8151-40	内蔵LTO	Ultrium-1	×	○
	N8151-49	内蔵LTO	Ultrium-2	×	○
	N8560-39				
	N8160-39	外付LTO	Ultrium-1	×	○
	N8160-46	外付LTO	Ultrium-1	×	○
	N8560-32				
	N8160-32	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-1	×	○
	N8160-34	外付LTO集合型	Ultrium-1	×	○
CGMT	N8160-35	LTO集合型(ラックマウント用)	Ultrium-1	×	○
	N8160-47	LTO集合型(ラックマウント用)	Ultrium-2	×	×
	N8160-50	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-2	×	×
	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	×	×
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	×	×

○:サポート ×:未サポート △:サポート予定(確認中)

<NTBackup>

- *w1: Windows NT 3.51ではテープデバイスに「4mm SONYドライブ」を選択願います。
- *w2: Windows NT4.0ではテープデバイスに「4mm DATドライブ」を選択願います。
- *w3: Windows 2000をExpress上で使用するには、「Express5800 Windows 2000 サポートキット」が必要です。
- *w4: 装置添付のドライバをご使用ください。

<ARCserve>

- *1,2: *1はARCserve J6.0 Service Pack1以降(SP3を推奨)、*2はARCserve J6.0 Service Pack3を適用願います。
- *3,4: *2はARCserve J6.5 Patch05以降(Patch07を推奨)、*4はARCserve J6.5 Patch07を適用願います。
- *5,6: *5はbuild 893へのアップデートとPatch02以降、*6はbuild 893へのアップデートとPatch03以降を適用願います。
- *7: テープライブラリに1ドライブ実装/20スロット(基本構成)までのサポートです。
- *8: テープライブラリに1ドライブ実装は標準サポート、2ドライブ以上実装時は、Tape Library Optionが必要です。
- *9: ARCserve 2000用デバイス追加パッチ(Lo81604)またはService Pack 2以降が必要です。
- *10: Fibre Channel(FC)接続の場合はSAN Optionが必要です。
- *11: ARCserve 2000 Service Pack 2以降(SP3を推奨)が必要です。
- *12: ARCserve 2000 Service Pack 2およびデバイスパッチ(Lo99724以降)、またはService Pack 3が必要(SP3を推奨)です。
- *13: ARCserve 2000 Service Pack 3およびデバイスパッチ(Qo15894以降)が必要です。
- *14: ARCserve 2000 Service Pack 3およびデバイスパッチ(Qo24708以降)が必要です。
- *15: ARCserve 2000 Service Pack 3およびデバイスパッチ(Qo31854以降)が必要です。
- *16: ARCserve v9 Patch4a以降が必要です。

<Backup Exec>

- *a: ベリタス社のホームページより対応モジュールをダウンロード願います。
- *b: ベリタス社のホームページより最新ドライバをダウンロード願います。
- *c: テープライブラリのドライブが2ドライブ以上の場合は、Library Expansion Optionが追加ドライブ数分必要です。
- *d: build 3314以前の場合はベリタス社のホームページより対応モジュールをダウンロード願います。
- *e: Fibre Channel(FC)接続の場合はShared Storage Option(v8.0)/SAN共有デバイスOption(v8.5/8.6)/SAN Shared Storageオプション(9.0)が必要です。
- *f: build 3571の場合はベリタス社のホームページより対応モジュールをダウンロード願います。
- *g: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ(BNT85IDRV28.exe)が必要です。
- *h: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ(bnt86idrv31_243823.exe以降)が必要です。
- *i: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ(bnt86idrv33_247699.exe以降)が必要です。
- *k: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ(bnt86idrv34_250034.exe以降)が必要です。
- *m: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ(bnt86idrv36a_256251.exe以降)が必要です。
- *n: build 4454以降でのサポートとなります。

<Net Backup>

- *A: NetBackupでDLTドライブを使用する場合は、対応するドライバをQUANTUM社のホームページからダウンロード願います。
- *B: Windows 2000のみのサポート。

「Express5800 Windows2000 サポートキット」は58番街(<http://express5800.com>)からダウンロードできます。
ARCserveのService Pack、修正モジュールはESSに添付されますが、コンピュータ・アソシエイツ社のホームページ(<http://www.caj.co.jp/>)からもダウンロードできます。
ARCserveIT 6.61 Windows NT版build 893はESS RL2000/06に収録されているほか、コンピュータ・アソシエイツ社ホームページより体験版を申し込む事で入手できます。ESS RL2000/03以前でインストールしている場合はESS EL2000/06以降またはコンピュータ・アソシエイツ社より入手した体験版を上書きインストールしてください。
Backup Execの修正モジュール/ドライバはベリタス社のホームページ(<http://www.veritas.com/jp/>)からダウンロードできます。
QUANTUM社のDLTドライバはQUANTUM社のホームページ(<http://www.quantum.com/>)からダウンロードできます。

注: ARCserveIT、ARCserveでリストアの際は、バックアップ時と同型の装置をご使用下さい。異なるテープ装置間でのデータ交換はサポートしていません。ARCserveIT、ARCserveではテープ装置種別により制御が異なるため、同一規格のテープを使用しても、別種類の装置ではエラーが発生する、テープを認識できない、リストアできないという現象が発生する場合があります。

	装置種類 (型名)	タイプ		ARCserve for Linux						NetVault
				ARCserve IT 6.6 for Linux	Tape Library Option	ARCserve 7 for Linux *L1	Tape Library Option	ARCserve v9 for Linux *L1	Tape Library Option	
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	x	-	x	-	x	-	o
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	x	-	x	-	x	-	o
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	x	-	x	-	x	-	x
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	x	-	x	-	x	-	o
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	x	-	x	-	x	-	o
	N8551-12	内蔵DAT	DDS3	o	-	o	-	o	-	o
	N8551-12A									
	N8551-12BC									
	N8151-12BC									
	N8551-26	内蔵DAT	DDS4	o	-	o	-	o	-	o
	N8151-26									
	N8151-43									
	N8151-45									
	N8151-51	内蔵DAT	DAT72	x	-	x	-	x	-	
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	x	-	x	-	x	-	o
	N8551-13	内蔵DAT集合型	DDS3	o	-	o	-	o	-	o
	N8551-13AC									
	N8151-13AC									
	N8551-27									
	N8151-27	内蔵DAT集合型	DDS4	o	-	o	-	o	-	o
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	o *L5	-	o	-	o	-	o
	N8560-02	外付DAT	DDS1	x	-	x	-	x	-	x
N8560-12	外付DAT	DDS3	o	-	o	-	o	-	o	
N8560-22	外付DAT	DDS4	o	-	o	-	o	-	o	
N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	x	-	x	-	x	-	o	
N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	x	-	x	-	x	-	o	
N8560-13	外付DAT集合型	DDS3	o	-	o	-	o	-	o	
N8560-13AC										
N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	o	-	o	-	o	-	o	
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	o	-	o	-	o	-	o
	N8551-34	内蔵AIT	AIT1	o	-	o	-	o	-	o
	N8151-34									
	N8151-34A									
	N8151-34B									
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	x	-	x	-	x	-	
	N8551-28	内蔵AIT	AIT2	o	-	o	-	o	-	o
	N8151-28									
	N8151-44									
	N8151-46									
	N8151-46A	内蔵AIT	AIT2	x	-	x	-	x	-	
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	x	-	x	-	x	-	x
	N8151-41A									
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	o *L3	-	o	-	o	-	o
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	o *L3	-	o	-	o	-	x
	N8151-36	内蔵AIT集合型	AIT2	o *L3	-	o	-	o	-	o
	N8551-29									
	N8151-29									
	N8160-43									
	N8160-41	AIT集合型 (ラックマウント用)	AIT3	x		x		o		-
N8160-41	AITライブラリ (ラックマウント用)	AIT2	x		x		o *L2L7			
N8160-44	AITライブラリ (ラックマウント用)	AIT3	x		x		o *L2L7			x
N8560-16	外付AIT	AIT1	o	-	o	-	o	-	o	o
N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	o *L3	-	o	-	o	-	o	o
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	o	-	o	-	o	-	o
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	o	-	o	-	o	-	o
	N8151-17									
	N8151-38									
	N8151-38									
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	x	-	x	-	x	-	o
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	o	-	o	-	o	-	o
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	o	-	o	-	o	-	o
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	x	-	x	-	x	-	o
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	x	-	x	-	x	-	o
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	x	-	x	-	x	-	o
	N8560-21	DLT集合型 (ラックマウント用)	DLT7000	x	-	x	-	x	-	o
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	o *L4	-	o	-	o	-	o
	N8160-29									
	N8560-30									
	N8160-30									
N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	o *L4	-	o	-	o	-	o	
N8160-26										
LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultrium-1	x	-	x	-	o *L7	-	o
	N8151-37									
	N8151-40									
	N8151-49									
	N8560-39	外付LTO	Ultrium-1	x	-	x	-	o *L7	-	o
	N8160-39									
	N8160-46									
	N8560-32									
	N8160-32	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-1	x		o *L1		o *L2		o
	N8160-34									
N8160-35										
N8160-35										
N8160-47										
N8160-50										
CGMT	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	x	x	x	x	x	x	x
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	x	x	x	x	x	x	x

Rev.0048

<ARCserve for Linux>

*L0: 全デバイスとも最新デバイスサポートパッチを適用のこと。

*L1: テープライブラリに1ドライブ実装/20スロット(基本構成)までは標準サポート。

2ドライブ以上または20スロット以上実装時は、Tape Library Optionが必要です。

*L2: テープライブラリに1ドライブ実装は標準サポート、2ドライブ以上実装時は、Tape Library Optionが必要です。

*L3: デバイスサポートパッチ(T11B088/L084604以降)が必要、最新デバイスパッチを推奨。

*L4: デバイスサポートパッチ(L087050以降)が必要、最新デバイスパッチを推奨。

*L5: デバイスサポートパッチ(L096843以降)が必要、最新デバイスパッチを推奨。

*L6: RedHat 7.1以降でサポート

*L7: OEM元サポート表明デバイス(NECでの確認は未実施)

ARCserveIT for Linuxの修正モジュールはコンピュータ・アソシエイツ社のホームページ
(http://www.caj.co.jp、認定デバイスリストのページ)からダウンロードできます。

<NetVault>

*N1: RedHat6.2では使用不可。